

仕 様

電 源	交流 100V (50-60Hz 共用)	自 動 温 度 調 節 器	設定温度 約 120℃～約 205℃
消 費 電 力	1200W	温度 過 昇 防 止 装 置	温度過昇防止器
種 類	スチーム ドライ (自動アイロン) 兼用	大 き さ	(収納時) 長さ 約 29cm 幅 約 18cm 高さ 約 20cm (アイロン) 長さ 約 22cm 幅 約 10cm 高さ 約 13cm
蒸気発生方式	滴下式	質 量	(収納時) 約 1.8kg (アイロン) 約 0.9kg
タ ン ク	着脱式 (満水表示目盛付)	か け 面	広さ 約 160cm ²
注 水 量	約 120ml	コ ー ド	1.6m・コードリール付き
ラ ン プ	パイロットランプ		

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください	
特典 1 お宅の家電情報をまとめて登録／管理ができる	PC http://club.panasonic.jp/
特典 2 使い方など商品情報をスムーズに入手できる	※このサービスは WEB 限定のサービスです。 ※製造番号は、スタンドの裏面をご覧ください。
特典 3 エンjoyポイントをためてプレゼントに応募できる	携帯

保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」(2～3 ページ)を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナービジネスユニット
〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2010

S0810-0
i82006-0A97A

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を図記号で説明しています。

🚫

してはいけない内容です。

❗

実行しなければならない内容です。

警告

■電源プラグ・コードは

🚫 次のことをしない
(火災・感電のおそれ)

- 傷つけない、加工しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、束ねない、熱器具に近づけない。
- コードを持って抜かない。
- ぬれた手で抜き差ししない。
- コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みが緩いときは、使用しない。
→販売店へ修理を依頼してください。

❗ 次のことを守る
(火災・感電のおそれ)

- 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 定期的にプラグを乾いた布でふく。(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因)
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。

❗ コードを収納するときは、電源プラグを持って巻き取る
(プラグが当たって、けがの原因)

■アイロン、スタンドは

🚫 子供など慣れない方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない
(やけど・感電・けがの原因)

絶対に分解・修理・改造しない
(発火・異常動作によるけがの原因)

落下させるなど、アイロンに損傷や水漏れがある場合は使用しない
(発火・感電のおそれ)
→販売店へ修理を依頼してください。

❗ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
(発煙・発火・感電のおそれ)

- 電源プラグや本体などが異常に熱かったり、変形・変色している。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
→販売店へ点検・修理を依頼してください。

Q&A 故障かな？

Q アイロン本体を振ったとき・使用中の「カタカタ」音や小さな金属音は？

A 水もれストッパーなどが動く音です。異常ではありません。

Q アイロンをスタンドへ置いたときに「シュー・シュー」と音が出て、スチームが出るのですか？

A 「満水目盛以上」注水したときやアイロン内部に水が残っているときに音が出ますが、異常ではありません。

Q アイロンかけをしたら、衣類が茶色になったのですが？

A 布地に合った温度でアイロンかけをしてください。また、洗濯した衣類に洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。

Q スチーム（特にショット）使用時に白い粉が出るのですか？

A 水あか(水に含まれる鉱物質など)が出るもので異常ではありません。白い粉が衣類に付いた場合は、払っていただくのと取れます。
→ご使用前に、不用品布の上で数回パワーショットを出してからお使いください。

故障かな？

この表を見ながらチェックしてください。
直らないときは修理をご依頼ください。

症 状	調べるところ・原因・対策
熱くならない	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。(P.9) ●アイロンをスタンドへ正しく戻してください。(P.13)
スチーム・ショットが出ない / 少ない	●タンクの満水目盛まで水を入れてください。(P.8) ●ショットボタンやスチーム切替レバーを数回操作してください。(P.13) ●アイロンをスタンドへ戻し、パイロットランプが点灯していれば、消灯するまで待ってください。(P.13) ●約 30 秒間給電してください。 ●スチーム使用時は、スチーム切換レバーをスチームにしてください。(P.13) ●温度設定を「高」にしてください。(P.9)
水がもれる・漏滴が出る	●ショット使用時はショットボタンを2秒以上間隔をあけて操作してください。(P.12) ●パイロットランプが点灯しているときは、消灯するまで待ってください。(P.13)
アイロンかけをすると、衣類が汚れる	●容器を使って水を入れる場合は、きれいな容器を使用してください。ジュースなどが残っている容器に入れた水を使用すると、衣類を汚す原因になります。
設定温度にならない	●アイロンをスタンドへ正しく戻してください。(P.13)
布地が焦げる	●高い温度から低い温度に変えた場合は、パイロットランプが点灯するまで待ってください。 ●温度設定を適温に合わせるか、「あて布」をしてください。
コードが巻き込まない	●コードのよじれを元に戻してから、ゆっくりと巻き込んでください。 ●赤印以上引っ張ったときは、少し強めに引っ張ってから、巻き込んでください。

愛情点検

長年ご使用のアイロンの点検を！

💖

こんな症状はありませんか

●電源プラグや本体が異常に熱い。
●焦げくさい臭いがする。
●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●自動的に電源が切れない。
●かけ面やとってが異常に熱い。
●その他の異常、故障がある。

➡

ご使用中止

事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

注意

■使用中は

🚫 熱いスチームやショットに触れない
(やけどの原因)

- スチームが透過するアイロン台を使用するときは、アイロン台の下に手や足などを入れない
- アイロン台からはみ出した状態でスチームやショットの操作をしない

- 手、ひざ、身体にかけない
- 着用したままの衣類にかけない

スチームが出ているときは、ケースをセットしない
(やけどの原因)

高温部(かけ面・カバー・スタンド)に手を触れない
(やけどの原因)

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない
(湯滴が出て、やけどの原因)

ショットボタンを連続して早く操作しない
(2 秒間隔より早く操作すると、湯滴が出て、やけどの原因)

ショットの勢いが弱くなったらショットボタンは操作しない
(湯滴が出て、やけどの原因)

やけど、けがを防ぐために

■アイロン、スタンド、ケースは

🚫 衣類に縫い針などをさしたままアイロンかけをしない
(アイロン内部に入り、発火の原因)

反対方向に持って、アイロンをかけない
(ボタンの誤操作によりスチームや湯滴が出てやけどの原因)

スタンドの接点にピンや針金で触れたり、ごみを付着させたりしない
(感電・発火の原因)

❗ ケースをスタンドに確実にセットする(持ち運ぶとき)
(アイロン、スタンドが落下してけがの原因)

湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンかけをする
(スチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因)

🚫 アイロンの近くで可燃性ガス(ペンジンなど)が発生するものを使用しない
(火災の原因)

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

5 ページでご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●保証期間中は、保証書(裏表紙)の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。 ※補修用性能部品の保有期間 [5 年]
技術料 診断・修理・調整・点検などの費用 当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理ご相談窓口	
電話 フリーダイヤル ☎	0120-878-554
※上記電話番号がご利用いただける場合があります。各地の「修理ご相談窓口」におかけください。	

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター ☎	
電話 フリーダイヤル ☎	0120-878-365
※上記電話番号がご利用いただける場合があります。 ※本邦内専用電話・PHSからもご利用いただけます。	
■FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236	
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6646-6787	
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。	

※ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社 (以下「当社」) は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報に適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

使用上のお願い

■アイロン本体に

●水をかけないで！
(故障の原因)

●リネンウォーターなどの香料を含んだ水をタンクに入れないで！
(本体破損の原因)

■アイロンをかけるときに

●コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してショットをかけて！
(衣類を傷める原因)

●高級品や特殊加工品などには目立たない所にためしかけを！
●特にご注意
ベルベット、アクリルナイロン、カシミアなど

●皮革製品・絹などにはショットをかけないで！
(衣類を傷める原因)

●ファスナー・ボタン等の固いものにアイロンかけをしないで！
(傷付きの原因)

■スタンドから外して、連続してアイロンかけできる時間
(ノーマルスチームの場合)
→ 約 1 分 30 秒～2 分 30 秒 (「高」の場合)
※使用条件により異なります。

●繊維専用です。他の目的では使わないで！

●布地を傷めないために
低温・中温表示などの熱に弱い布地や色の濃い布地には、目立たない部分に「ためしかけ」をし、必要に応じて「あて布」をしてください。

●布地のデカリを防止するには「あて布」をしてください。

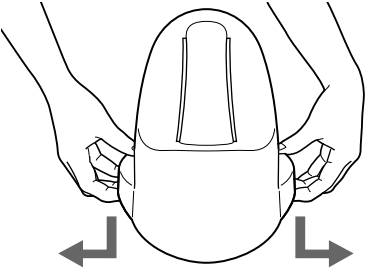
※イラストは説明イメージのため、実際とは多少異なります。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。
・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 旭川市2条通16丁目1166 帯広市西20条北2丁目23-3 函館市吉松東58番地2-41 (函館流通センター内) 青森市大字区北字田舎36-4 秋田市外畑川字小谷地3-1 盛岡市薮川5丁目1-43 仙台市宮城野区扇町7-4-18 山形市平清水1丁目1-75 郡山市亀田1丁目51-15 宇都宮市上戸町3丁目3-19 前橋市田中町323-1 つくば市筑前3丁目15-3 栃川市赤堀2丁目4-2 千葉市中央区末広5丁目9-5 東京都世田谷区喜多2丁目26-17 山梨県 長野市延岡2丁目3-16 新潟県 新潟市東区東町1丁目8-14 金沢市玉巻2丁目266番地 富山県 富山市根岸町1丁目1-4 福井県 福井市問屋町2丁目1-4 長野県 松本市寿北7丁目3-11 静岡県 静岡市駿河区高松2丁目24-24 愛知県 名古屋市中区東区堀場10-10 岐阜県 岐阜市中郷4丁目42 高山市花岡町3丁目82 津市久居野村字山神42-1 守山市水保町1166番地1 京都府 京都市南区上鳥羽中河原3番地 大阪府 大阪市東淀川区西宮2丁目15-5 奈良県 大和郡山崎町300番地 和歌山県 和歌山市中島499-1 兵庫県 神戸市須磨区須磨台3丁目13-4 鳥取県 鳥取市安長295-1 米子市米原4丁目2-33 松江県 松江市平部町1182番地14 出雲県 出雲市渡辺町4-16 浜田県 浜田市下野町327-93 岡山県 岡山市北区田中138-110 広島県 広島市西区南観音1丁目13-5 山口県 山口市小郡下郷220-1 香川県 高松市助使町152-2 愛媛県 愛媛県伊予郡砥部町18番75-1 福岡県 春日市春日公園3丁目48 佐賀県 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 長崎県 長崎市東町1919-1 大分県 大分市秋原4丁目5-35 宮崎県 宮崎市本郷北方学園東2099-2 熊本県 熊本市東区東町12-3 大分県 大分市港町18-1 鹿児島県 鹿児島市与次郎1丁目5-33 奄美市名瀬新仁町11-2 沖縄県 浦添市港城4丁目23-11
-------	---

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。 <http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

ケース



■外し方（テーブルなどに置いて行う）
両サイドを下へ押しながら開き、持ち上げる。

1

タンクに上水道の水を入れる
(ドライで使う場合、水は不要)


1 スチーム切換レバーを「（ドライ）」にする
(水漏れ防止のため)



2 タンク取り外しボタンを押しながら、タンクを外す



3 水を入れる
上水道の水以外は入れない



こんな水は入れないで！
●ミネラルウォーター ●軟水器の水
●アルカリイオン整水器
●リネンウォーターなどの香料を含んだ水など
●水を入れ過ぎるとスタンドに置いたとき、スチームが出ます。
●タンクに水を入れる前に、電源プラグをコンセントへ差し込まないでください。

4 注水口ふたを必ず開けてから、「カチッ」と音がするまで押してタンクを取り付ける



スチーム切換レバー

ショットボタン

温度設定つまみ

とって

パイロットランプ
点灯・消灯により温度調整していることをお知らせします。

繊維案内表示

注水口ふた

タンク取り外しボタン

タンク

かけ面

カバー

赤印
※この印以上引き出さない。

アイロン

スタンド(給電用)

製造番号
クラブパナソニックのご愛用者登録時に必要です。

コード

電源プラグ

交流 100V

2



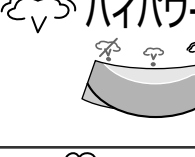
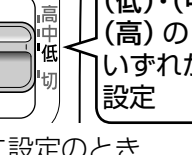
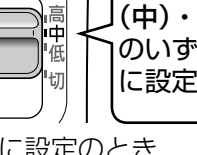
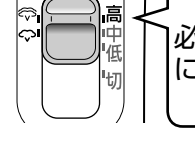
温度設定つまみを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込む

※電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、アイロンを放置したままその場を離れないでください。

3

衣類の取り扱い絵表示を確認して温度を設定する

温度を設定するとパイロットランプが点灯します。

 ドライ	 ノーマルスチーム	 ハイパースチーム
 (低)に設定のとき ●衣類に絵表示がないときはスタンドの繊維案内表示を参考にしてください。	 (中)に設定のとき	 必ず(高)に設定 ●(低)や(中)では、水もれしたり、ショットが出ないことがあります。

4

パイロットランプが『点灯→消灯』したら使用する

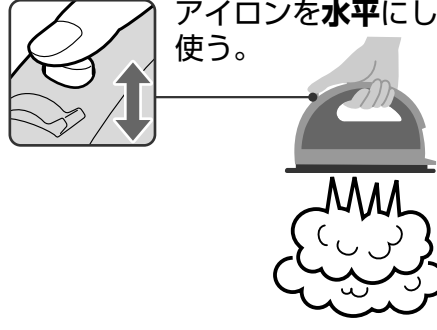
●アイロンをスタンドから外すと、パイロットランプは消えます。

ショットボタン

●ショットボタンを操作する。(操作回数の目安：5～10回)
2秒間隔より早く操作しないでください。また、ショットの勢いが弱くなったら操作しないでください。(湯滴が出てやけどの原因)
ショットの勢いが弱くなったら、給電してからお使いください。
●スチームとショットの両方を使うと、ショットの勢いが弱くなることがあります。

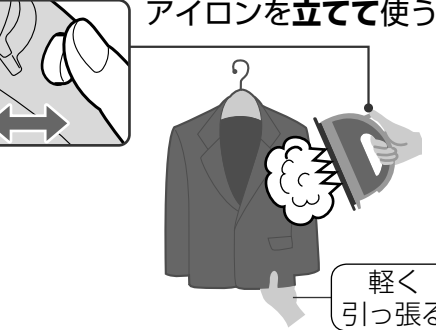
パワーショット

アイロンを水平にして使う。



ハンガーショット

アイロンを立てて使う。




かけ面を衣類から離して、目立たない所のためしかけをしてからお使いください。(特にカシミア等の起毛した衣類)

ご使用例

セーター

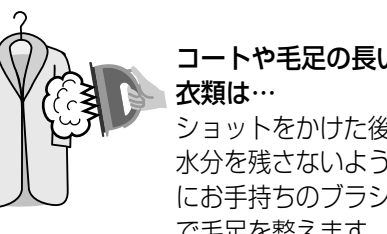
全体仕上げ
伸びきった袖口やゴム編み部分



ショットを全体にかけて形を整えます。かけ、たて方向に引っ張りながら整えます。

背広/コート

ハンガーにつるしたままの衣類に



コートや毛足の長い衣類は…
ショットをかけた後、水分を残さないようにお手持ちのブラシで毛足を整えます。

スチーム切換レバー

ドライの場合

「（ドライ）」にする。



スチームの場合

薄手の布や混紡などの仕上げに「（ノーマルスチーム）」

厚手の布や綿、麻などの仕上げに「（ハイパースチーム）」



2

アイロンをかけていないときは給電をしましょう (必ず専用のスタンドをお使いください)

●逆方向や横方向に置き、接続部が変形すると、通電できなくなります。
●アイロンをスタンドへ戻したときに、パイロットランプが点灯したら、消灯するまでお待ちください。



接続部へ確実に戻す

3


スチーム、ショットが出にくいとき

●使いはじめやタンクに水を入れた後は、ショットボタンやスチーム切換レバーを数回操作してください。
●使用中に出にくくなった場合は、かけ面の温度を上げるためアイロンをスタンドへ戻し、パイロットランプが点灯から消灯になるまでお待ちください。

※タンクの水が少なくなったときは、満水目盛まで水を入れてください。




低温のものから高温のものへ

アイロンの温度上昇に応じてかけると、時間のムダがありません。前もって衣類を分類しておきましょう。
※高い温度から低い温度に設定すると、低い温度になるまで数分かかる場合があります。



絵表示の見方と温度の関係

絵表示の見方例

	線は指示温度であて布をする意味です。
	指示温度で布地の裏からかける意味です。
	アイロンかけはできません。

その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

絵表示と温度の関係


繊維製品の絵表示	低	中	高
衣類・布地の種	アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン ビロン・レーヨン (長繊維) キュプラ・アセテート ポリエステル	綿 麻 レーヨン (短繊維) ポリノジック
温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度	約 120℃	約 160℃	約 205℃
設定温度になるまでの時間	約40秒	約55秒	約1分10秒

※混紡の場合は、低い方の繊維の温度に合わせてください。

スプレーのり・洗濯のりなどを使うとき

スプレーのり等の仕上げ剤

洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ず「ドライ」でアイロンかけを！ (P.13)



●少し固めに仕上げたいときは…
スプレーのり → アイロンかけ (ドライ)
を繰り返します。
(一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびり付く原因になります。)

かけ面にのりが付着した場合は、その都度お手入れを！ (P.14)
※付着したまま使うと、かけ面にのりがこびり付き、取れにくくなります。
また、かけ面に布の色が付着し、布に色移りする場合があります。

洗濯のり付けをした生乾きの衣類

「ドライ」でアイロンかけを！

接着芯地など、のりが付いているもの

必ず「あて布」をして、アイロンかけを！

コードレスアイロン

衣類にアイロンをかけていないときにスタンドへ戻しておく、設定温度を保ち、コード付きのアイロンとほぼ同様に使えます。

水もれストッパー


使用中、かけ面温度が下がると、スチームが止まります。
作動するとき、内部で「カチン」と音がします。


5


ご使用後は

1 温度設定を「切」にする

●ご使用後は必ず「切」にしてから電源プラグを抜いてください。



2 スチーム切換レバーを必ず「（ドライ）」にし、タンクの水を捨てる (水もれ、腐食防止のため)




●水を捨てた後、タンクに水滴が残りますが、差し支えありません。

3 電源プラグをコンセントから抜きコードを収納する

●コードは最後まで収納してください。(ケースにコードがはさまり、破損の原因)

4 ケースをまっすぐかぶせ手で押さえ確実にセットする



●アイロンは熱いまま収納できますが、ケースに水滴が付く場合があります。

お願い
●通電したままケースをセットしないでください。


お手入れ

※電源プラグを抜き、よく冷めてから！

かけ面に付着したのり

よく冷えてから、その都度ぬれた布でふき取る


※クリーナー・シンナーなどは使わないでください。



アイロンやスタンド

「やわらかい布」でふく


※汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤 (中性) を布に含ませてください。



アイロンの接点

「やわらかい布」でふく

※磨かないでください。(接触不良の原因)




スチーム穴がつまったらときは、お近くの販売店に修理をご依頼ください。

-14-


アイロンかけのポイント

押さえる




折り目ははっきり付けたい所やガンコなシワの部分はしっかりと押さえて。

浮かせる



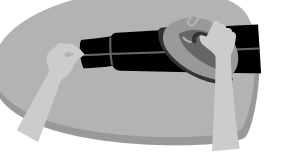
毛足の長いウール繊維の仕上げや、こみ入ったデザイン部分の仕上げに。

両手を使って



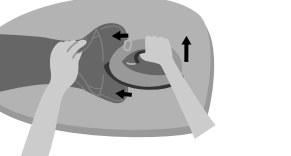
片方の手で布地を引っ張りながらシワを上手にのぼして。

縫い目は引っ張り気味に



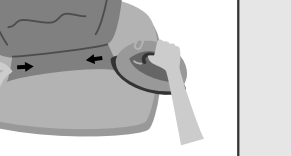
細かいシワが残らないように片方の手で引っ張り気味に。

カフス




内側にアイロンをすべり込ませながらしっかりと。

襟



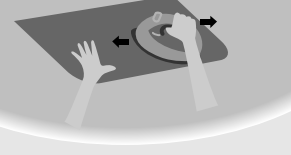
引っ張りながら、両端から中央に向かって半分ずつかけます。

かけ面を上手に活用！




アイロンを持ち替えずにどの方向でもかけられます。
必要以上の力をかけないで衣類の上を軽くすべらせるだけでOK!

面積が広い衣類は横にすべらせると効率アップ!



かけ面の後部でも細かい部分をかけられます。



-11-